

農産物の残留農薬検査 【アンケート結果と対象食品】

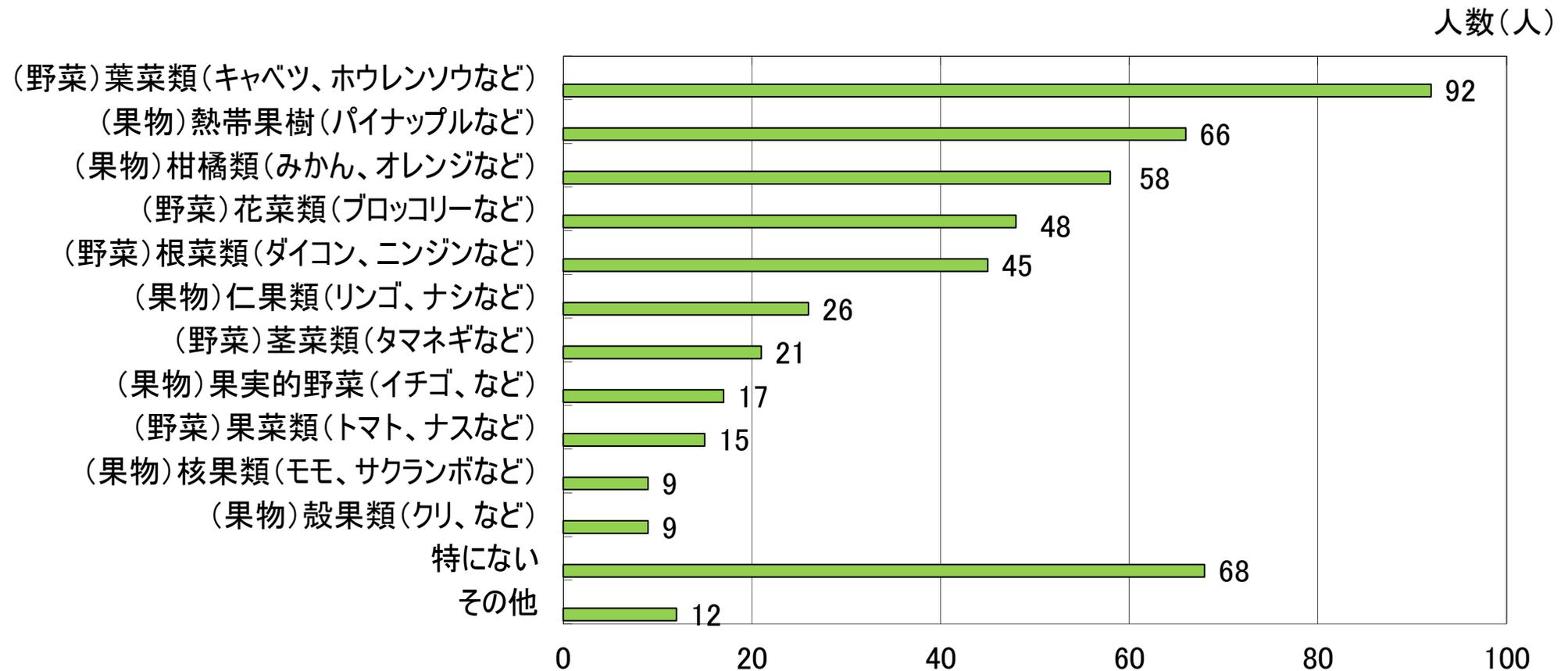


平成30年度に実施したアンケートの結果をもとに、県民の方々が不安を感じる食品について、検査を実施しました。

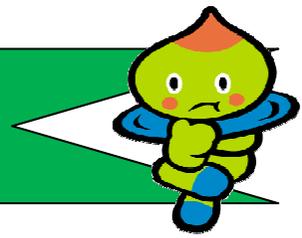
Q1 アンケートの結果は？

【設問】 残留農薬で特に不安を感じる食品は何ですか？

平成30年度のアンケート結果では、「残留農薬」について不安を感じる食品として、「**葉菜類（キャベツ、ホウレンソウなど）**」が最多でした。次いで、「**熱帯果樹（バナナなど）**」という結果でした。



農産物の残留農薬検査について



Q2 どんな食品を購入するの？

【令和3年度】

野菜、果物の種類を問わず、**輸入農産物**を対象として購入することとしました。
また、生鮮野菜、果物に加えて、**冷凍野菜**等も対象として購入し、より多品目の輸入農産物を検査対象としました。

Q3 どのように購入したの？

食品の販売量、利用客が多い「**スーパー等**」を対象に、原則、陳列している輸入農産物を可能な範囲で全品目購入しました。

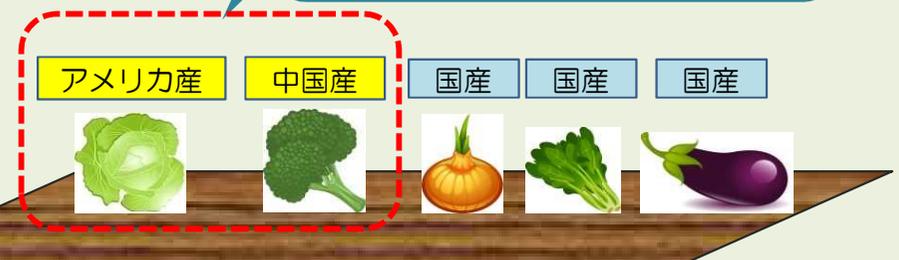
令和3年度では、**陳列している輸入農産物を可能な範囲で全品目購入**しました。

◇購入年月日 : 令和3年7月21日、9月2日、
11月4日、12月9日、2月24日

◇購入食品の数 : 計70検体

◇産地 : 国外（**中国、アメリカ、タイ、ベトナム**など13か国）

詳細は、「検査結果」のファイルを参照ください。



Q4 どんな検査をしたの？

殺虫剤、殺菌剤、除草剤等の農薬について、滋賀県で検査可能な項目を検査しました。検査する農薬項目の選定方法としては、過去の国産農産物および輸入農産物からの農薬の検出状況、農薬の流通状況等を考慮して選定しています。また、農薬の検査項目は、ほぼ毎年度見直しています。

年度	農産物種別	農薬検査項目数	検体数	合計検査項目数
平成29	野菜（ねぎ類を除く）	172項目	72	12,384
	ねぎ類（ねぎ、玉ねぎなど）	191項目	6	1,146
	果実	175項目	31	5,425
	豆類・アボカド等（脂質の多いもの）	121項目	1	121
30	野菜（ねぎ類を除く）	243項目	76	18,468
	ねぎ類（ねぎ、玉ねぎなど）	256項目	6	1,536
	果実	233項目	18	4,194
	豆類・アボカド等（脂質の多いもの）	244項目	1	244
令和元	野菜（ねぎ類を除く）	243項目	64	15,552
	果実	233項目	36	8,388
令和2	野菜（ねぎ類を除く）	243項目	53	12,879
	ねぎ類（ねぎ、玉ねぎなど）	256項目	4	1,024
	果実	233項目	16	3,728
	豆類・アボカド等（脂質の多いもの）	244項目	2	488
令和3	野菜（ねぎ類を除く）	243項目	55	13,365
	ねぎ類（ねぎ、玉ねぎなど）	256項目	3	768
	果実	233項目	11	2,563
	豆類・アボカド等（脂質の多いもの）	244項目	1	244

Q5 どこで検査したの？

※検査項目物質名については、次のページに記載しています。

滋賀県の行政検査機関である『滋賀県衛生科学センター』で検査を行いました。



令和3年度残留農薬検査について

【目的】

滋賀県食品衛生監視指導計画に基づき、県内で生産または流通している農産物を対象に、残留農薬の検査を行い、残留基準値を超える農産物を排除することにより、安全な農産物の流通を図ることを目的としています。

【目的】

【実施方法】

県内で生産している農産物を保健所等が農協、道の駅、地方卸売市場等で収去しやスーパー等購入した農産物を衛生科学センターにおいて検査を実施

【検査内容】

- ①有機リン系(殺虫剤、殺菌剤、除草剤、殺ダニ剤)
- ②有機塩素系(殺虫剤、殺菌剤、除草剤)
- ③含窒素系(殺虫剤、殺菌剤、除草剤、成長調整剤、殺ダニ剤)
- ④ピレスロイド系(殺虫剤)
- ⑤カーバメート系(殺虫剤)
- ⑥尿素系(殺虫剤、殺菌剤、除草剤)
- ⑦ネオニコチノイド系農薬(殺虫剤)

食品の種類によって、157～256農薬検査しています。

(令和3年度残留農薬検査実施要領より)